

平成26年度 事業計画書

西神南あんしんすこやかセンター

1. 《平成26年度法人ヴィジョン》

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

2. 《基本方針》

- ①介護保険制度をはじめとする市町村の介護・福祉行政の一翼を担う機関であることを認識し、公正中立な事業運営を行う。また、地域の特性や実情を常に把握し何事に対しても柔軟に対応をしていく。
- ②職員相互に常に情報を共有し、互いの業務の理念・基本的な骨格といったものを理解した上で、連携・協働の体制を整え、地域包括支援センター業務全体をチームとして支えていく。
- ③圏域の居宅介護支援事業所・介護サービス事業所・地域と密に連携をとり、地域包括ケアの充実を図る。

3. 《最終目標》

「安心して暮らせる街づくり」

- ・介護を受ける事になっても、介護をする事になっても安心して暮らせる街づくりを地域の方々と共に行い、地域の福祉サービスの一翼を担っていく。

4. 《目標》

①相談対応の充実

A) 介護者支援の充実

介護リフレッシュ教室を年間6回（2ヶ月に1回）西神南センタービルにて開催。
在宅で介護をされている方に対して情報交換の場の提供だけでなく、時節に応じた行事やレクリエーション等も行い介護者同士の輪を広げていく。

B) 権利擁護業務の充実

◆成年後見制度の啓発

- ・地域での行事の場において身近な事例を寸劇等で分かりやすく説明し、地域の方々に対して制度の理解を深めていく。
- ・事業所連絡会において勉強会を開催しサービス事業所に対しても制度についての啓発を行っていく。

◆高齢者虐待への対応

- ・成年後見制度同様、地域住民や事業所に対して高齢者虐待防止について地域での行事を活用し啓発をしていく。
- ・個別に相談があったケースについては行政機関と協働し、迅速に対応をしていく。

C) 地域の関係者との連携

◆圏域の事業所やケアマネジャーとの連携

- ・2ヶ月に1度、ニュータウン地区にある他の2つの地域包括支援センターと共催にてケ

アマネジャー連絡会を開催。他サービスの事業所とも連絡会を開催し情報交換を行う。

◆医療機関及び行政との連携

- ・圏域内の医療機関の情報をまとめ、情報をケアマネジャーに対して発信していく。
- ・区の医療連携ワーキングに参加し、地域の方々がスムーズに入退院ができるよう、区内の有床医療機関との連携を強化していく。

◆地区診断の実施

- ・圏域内の福祉・保健ニーズを探り、情報をまとめていく。

D) 相談窓口の周知徹底

◆地域住民への周知

- ・地域行事に、積極的な参加をし、センターの知名度を上げる。
- ・地域の情報誌等の媒体を活用し行事の実施を通じてセンターの知名度を上げる。

◆職員の技術向上

- ・研修には適宜参加し、地域包括支援センターの職員としての資質の向上に努める。
- ・2ヶ月に1度、併設居宅介護支援事業所と合同で事業所内勉強会を実施する。

E) 認知症事業の啓発

◆認知症サポーターの養成

- ・地域包括支援センター圏域内で認知症サポーター養成講座を4回開催し、新たに認知症サポーターを100名増やす。

◆認知症支援の充実

- ・地域において認知症講座を開催し、寸劇等により分かりやすく認知症についての理解を地域に深めていく。
- ・圏域内の医療機関(17医療機関)に対し認知症に関するリーフレットを配布・説明し、認知症に対する理解を深めていく。

②介護予防の充実

A) 介護予防ケアマネジメントの充実

◆サービス事業所との連携

- ・利用者にとって有用なケアプランが立案できるよう、介護保険サービス事業所との連絡会を開催し、サービス事業所との「顔の見える関係」を構築する。

◆ケアマネジメントスキルの向上

- ・行政主催の研修に参加をする事は勿論の事、各事業所にて行われている勉強会には可能な限り参加をし、介護予防ケアプランの質を高める。

B) 特定高齢者事業の充実

◆圏域の特定高齢者の把握

- ・生活機能評価事業において特定高齢者候補として該当された方に対して個別に電話・訪問を行い生活機能評価のフィードバックを確実に行う。
- ・介護認定において非該当となられた方に対して電話・訪問によりその方の現状を把握し、生活のフォローを行う。

③地域見守りの強化

A) 訪問活動の継続

- ・あんしんすこやかルーム対象エリアの全戸訪問を行い、居住されている方の実態把握をする事により、必要な方には迅速に介護保険サービスの提供を行う。

- ・圏域の独居高齢者・老老世帯の高齢者に対して民生委員や地域の団体と情報を共有し適宜訪問をする事により生活実態の把握に努める。

B) 地域団体との連携

- ・小地域見守り連絡会を半年に1度（2月・7月）開催し、民生委員やLSA等の関係者と地域に居住されている方の課題を探り解決していく。
- ・ふれあいのまちづくり協議会や地域の団体が主催している行事に積極的に参加をする事により、各団体との顔の見える関係を構築していく。

C) コミュニティ作りの充実

- ・地域でコミュニティサポート事業を開催し、住民同士の交流の場を作る。
- ・コミュニティ事業に協力をしていただける方を募りボランティアとして活用する。
- ・地域で行われている行事に参加をし、地域のコミュニティ作りのサポートをしていく。

5. 《年間行事予定》

2014年度介護リフレッシュ教室・介護予防教室・あんしんすこやかルーム予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護リフレッシュ教室	○		○		○		○		○		○	
お達者倶楽部			○				○				○	
おもと会		○				○				○		
いぶきほんわか倶楽部	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
クラシック井吹					○							○
うたごえ喫茶	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
ゆいちゃんクッキング倶楽部		○			○			○			○	
認知症講座		○			○			○			○	

○介護リフレッシュ教室

在宅で介護をしている方が悩みを独りで抱え込まないように、介護者同士の交流の場として年間6回西神南センタービルにて開催予定。

○お達者倶楽部

井吹台在住の方向けの事業として、西神南センタービルにて開催。

神戸西リハビリデイサービスセンターに協力を依頼し、健康づくり教室を年間3回開催予定。

○おもと会

榎谷民児協主催の給食会。榎谷地域福祉センターにて毎月開催されており、3ヶ月に1回セ

ンター職員が参加をし、参加者の健康チェック・介護予防の相談受付を行う。

○いぶきほんわか倶楽部

3年前に建設されたマンション「フィレール西神南」にてNPO法人ニューいぶきと協働で開催。新たに引っ越されてきた高齢者が多く、ゲームや製作活動を実施し地域交流の場として毎月開催予定。

○クラシック井吹

市営西神南住宅集会所で定期的に行っているうたごえ喫茶とは異なり、クラシック音楽を身近に楽しんでもらい、住民の交流の場として年2回市営西神井吹台住宅集会所にて開催予定。

○うたごえ喫茶

カラオケではなく昭和40年代に流行した「歌声喫茶」をイメージし、参加者が皆で歌えるよう、出演ボランティア「クローバーミュージック」「ひまわり会」に依頼。地域の行事として好評を得ており、本年度も市営西神南住宅にて年間10回の開催を行う。

○ゆいちゃんクッキング倶楽部

「食で季節を感じる」をコンセプトに開催。今年度はメニューをカレーに絞り季節の食材を活用し様々なカレーを地域の方々と一緒に作り交流を深める。市営西神南住宅集会所・市営西神井吹台住宅集会所にて春・夏・秋・冬の年間4回の開催を目指す。

○認知症サポーター養成講座

地域の方々が認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者になってもらうべく認知症サポーター養成講座を開催。圏域に在住の方だけでなく、地域の商業施設の従業員に対しても開催をし、圏域で新たに100名の認知症サポーターを増やす。

6. <<職員構成>>

管理者	主任介護支援専門員	保健師	社会福祉士	介護支援専門員	見守り推進員
1名 居宅介護支援事業所 兼務	1名	1名	1名	1名	3名